

関係府省庁からの令和3年度の実施資料

消防庁

消防庁における熱中症対策

1. 熱中症による救急搬送人員の調査と公表

(1) 調査の概要

全国の消防本部を調査対象とし、5月1日※を含む週の月曜日から9月30日を含む日曜日までの救急搬送人員調査を実施。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症をめぐる現状等に鑑み調査の開始時期を延期し6月から調査を実施したが、令和3年度は例年どおりに調査を実施中。

(2) 調査結果の公表

調査結果は、週毎に速報値を「週報」として消防庁HPに公開するとともに、月毎に確定値を「月報」として報道発表。その後、各月の状況を集計した資料も報道発表。

(3) データ提供

データは消防庁HPにおいて、Excel形式で提供。

※ 令和2年度の調査結果（令和2年10月27日公表）
 救急搬送人員 6～9月の合計 64,869人（うち死亡者数112人）
 [参考] 令和元年度同時期の合計 66,869人（うち死亡者数118人）

2. 特設ホームページ「熱中症情報」等による予防のための普及啓発

(1) 熱中症による救急搬送人員（週報・月報）の内容を情報発信

(2) 予防啓発コンテンツ

① 予防啓発ポスター

熱中症による緊急時には、ためらわずに救急車利用を呼びかけるポスターを作成・配布

※ 令和3年度は、映画会社の協力を得て、予防啓発ポスターを作成し、全国の消防本部等へ配布（6月）。



予防啓発ポスター

② 予防啓発ビデオ

熱中症予防のポイント等を説明した動画を作成（5分、15秒）

※ 令和3年度は、消防庁キャラクター「消太」を活用した新たな予防啓発動画を作成し、近く公開予定。



予防啓発ビデオ

③ 予防啓発イラスト

「消太」を活用して熱中症予防を呼びかけるイラストを作成（30種類）

④ 予防広報メッセージ

移動車両等での広報に用いるメッセージを作成（20例）

※日本語を含めて4言語作成（日、英、中、韓）



予防啓発イラスト

⑤ 熱中症対策リーフレット

熱中症の予防法や対処法のポイントを記載

⑥ 熱中症予防啓発取組事例集

各消防本部における取組事例を紹介

※ 令和3年度は、令和元年度にとりまとめた取組事例集について内容の更新を行い、近く公表予定。



消防庁ツイッター

⑦ ツイッターによる注意喚起（フォロワー数：約98万）

(3) 都道府県を通じ、全国の消防本部に対して、積極的に熱中症の予防啓発を実施するよう求める事務連絡等を発出。

3. 訪日外国人に対する普及・啓発

(1) 訪日外国人のための救急車利用ガイド

急な病気やけがをしたときに、必要な情報を掲載(※令和3年3月に9言語を追加し、現在以下の16言語に対応)

(英語、中国語(繁・簡)、韓国語、タイ語、フランス語、イタリア語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、ネパール語、インドネシア語、スペイン語、ビルマ語、クメール語、モンゴル語)

(2) 予防広報メッセージの作成(日本語を含めて4言語)(再掲)

(3) 外国人のための熱中症予防普及啓発用リーフレット(Summer in Japan)の作成

(※英語のみ)



訪日外国人のための
救急車利用ガイド



外国人のための
熱中症予防普及啓発用
リーフレット

4. その他の情報発信

防災行政無線の戸別受信機をはじめとする情報伝達手段を活用した情報提供について、災害情報伝達手段に関するアドバイザー派遣や各種会議等を通じて地方公共団体へ周知。

※令和3年度は、災害時の熱中症予防に関するリーフレットについて、関係府省庁と連携した事務連絡を通じて地方公共団体へ周知(6月)。

文部科学省

文部科学省における熱中症の対策について

【令和3年度】

1. 熱中症事故防止に向けた関係機関への通知等

○4月30日 男女共同参画共生社会学習・安全課長、教育課程課長通知

「熱中症事故の防止について（依頼）」を发出

⇒ 学校管理下における熱中症事故は前年より減少しているところ、近年の熱中症の増加や今後の気候変動等の影響を考慮し、例年より1か月早く通知を发出。

都道府県・政令指定都市教育委員会等に対して、各学校における適切な水分・塩分の補給や、症状が見られた場合の体温の冷却、病院への搬送等の適切な措置等を要請。

○5月14日 スポーツ庁健康スポーツ課長通知

「熱中症事故の防止について（依頼）」发出

⇒スポーツ活動中の熱中症事故の防止について、都道府県・政令指定都市スポーツ主管課を通じて関係団体に注意喚起

※更に、定期的にスポーツ庁のSNS等で注意喚起を予定

○6月9日 男女共同参画共生社会学習・安全課長、教育課程課長通知

「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」の活用について（依頼）」发出

⇒教育委員会等の学校設置者等が作成する熱中症対策に係る学校向けのガイドラインの作成・改訂に資するよう、環境省と文部科学省が共同で「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を作成

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センターの取組

○6月11日

教材カード作成、Web掲載



独立行政法人日本スポーツ振興センター「学校安全 Web」教材カード掲載アドレス
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/card/tabid/519/Default.aspx

○7月中旬

教材カード作成、Web掲載予定

3. 各種会議等での注意喚起など

○ 5月31日

学校安全担当者連絡協議会において、熱中症を注意喚起

○ 6月3日

日本中学校体育連盟評議員会において熱中症対策を注意喚起

○ 6月6日

日本中学校体育連盟評議員会において熱中症対策を注意喚起

○ 8月12日（予定）

全国高等学校体育連盟加盟団体長会において熱中症対策を注意喚起

○ 9月末（予定）

都道府県・指定都市スポーツ主管課長会議において、配付する資料に通知文を掲載し、注意喚起

○ 通年

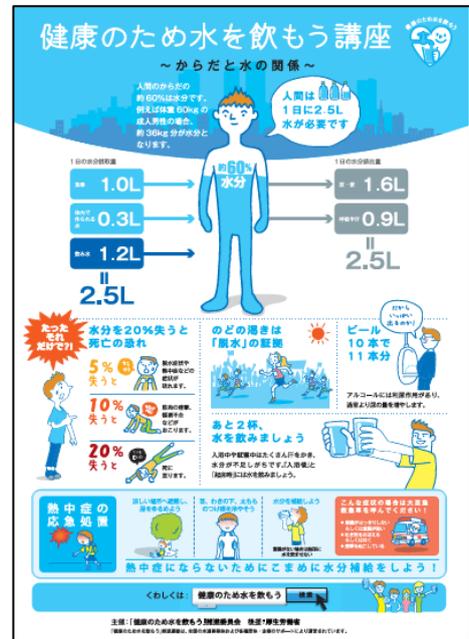
（独）教職員支援機構で実施している中央研修受講者に配付する資料に通知文を掲載し、注意喚起

厚生労働省

2. 「健康のため水を飲もう」推進運動の支援

- 「健康のため水を飲もう」推進委員会*作成のポスターの掲示・配布について、協賛団体、文部科学省及び大臣認可水道事業者等へ協力を依頼（5月24日付）。

* 「健康のため水を飲もう」推進委員会とは、2007年に発足した民間の組織で、「こまめに水を飲む習慣の定着」等の活動を行っている。



3. 熱中症発生状況等に係る情報の提供

- 人口動態統計に基づく熱中症による死亡者数を集計し公表。
- 直近10年間の職場における熱中症による死傷災害発生状況を取りまとめ公表。

職場における熱中症予防対策（厚生労働省）

- 熱中症予防は、労働災害防止計画の柱
- WBGT値の実測の促進
- 屋内作業などで、熱中症を軽視しない
- 衣服の通気性に着目
- 「新しい生活様式」を踏まえた対応



令和3年の熱中症予防対策

・「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」

（5月1日～9月30日）における、

- 重点的な取り組みの推進
- 都道府県労働局、各労働基準監督署における事業者向けリーフレットの配布
- 職場における熱中症予防に関するポータルサイトの整備

渴く前に飲む！



チューイカン吉

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

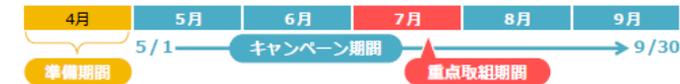
STOP! 熱中症 令和3年5月～9月 クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）	
<input type="checkbox"/> WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。
<input type="checkbox"/> 作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。
<input type="checkbox"/> 設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設備により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。
<input type="checkbox"/> 服装などの検討	通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。
<input type="checkbox"/> 教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょう。
<input type="checkbox"/> 労働衛生管理体制の確立	衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょう。
<input type="checkbox"/> 緊急時の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。

【主催】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国製菓業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

(R.3.3)

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1 □WBGT値の把握	
JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。	
STEP 2 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。	
<input type="checkbox"/> WBGT値を下げるための設備の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。
<input type="checkbox"/> 休憩場所の整備	
<input type="checkbox"/> 通気性の良い服装など	
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、単独作業を控え、WBGT値に応じて作業の中止、こまめに休憩をとるなどの工夫をしましょう。
<input type="checkbox"/> 熱への順化	暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの方は注意が必要です!
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても定期的に水分・塩分を取りましょう。
<input type="checkbox"/> プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。

STEP 3 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。	
<input type="checkbox"/> WBGT値の低減対策は実施されているか	<input type="checkbox"/> 異常時の措置 ～少しでも異常を感じたら～ ・いったん作業を離れる ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない
<input type="checkbox"/> 各労働者が暑さに慣れているか	
<input type="checkbox"/> 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか	
<input type="checkbox"/> 各労働者の体調は問題ないか	
<input type="checkbox"/> 作業の中止や中断をさせなくてよいか	

重点取組期間（7月1日～7月31日）

<input type="checkbox"/> 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じて追加対策を行いましょう。
<input type="checkbox"/> 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
<input type="checkbox"/> 水分、塩分を積極的に取りましょう。
<input type="checkbox"/> 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
<input type="checkbox"/> 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
<input type="checkbox"/> 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン (英語版)

Combat Heatstroke at work

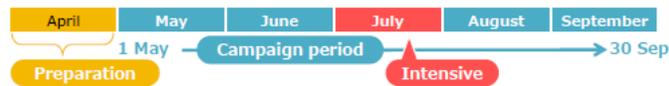
May-September 2021

— Fight against heat illness —

Nearly 1,000 workers are seriously ill from heat stress every year, of whom around 20 workers lead to death. The Ministry of Health, Labour and Welfare promotes 'Combat heatstroke' Campaign to show important cautions and good practices against heat illness at work. Workers and Employers, let's make workplace safer together!

Do and check your measures by each period.

[Schedule]: 1 May - 30 September 2021 (April 2021 for preparation, July 2021 as intensive period)



Make sure each action be checked!

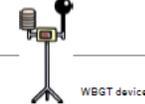
Preparation (1-30 April 2021)	
<input type="checkbox"/> Get ready to measure the WBGT index	Prepare a WBGT device certified by JIS B 7922
<input type="checkbox"/> Make a work plan flexibly operable according to the WBGT index	Write a work plan that can be operated with flexibility including break and work interruption according to the WBGT index.
<input type="checkbox"/> Consider using equipment and keeping rest area	Consider using a sunshade, ventilation, air-conditioning or cooling mist-shower or for reducing WBGT index . Keep rest area with air-conditioning or in the shade .
<input type="checkbox"/> Consider wearing cool clothes	Prepare for breathable work suits. Consider work suits with active ventilation or cooling vests .
<input type="checkbox"/> Engage workers in training course	Organize training courses to prevent heat illness.
<input type="checkbox"/> Select a person in charge of preventive work management	Establish industrial health management at workplace including responsible IH staff for heat illness prevention .
<input type="checkbox"/> Decide on an emergency action	Confirm and share the emergency action to take including hospitals when heat stress syndrome happens.

Campaign Period (1 May- 30 September 2021)

STEP 1

Measure WBGT index

Be sure to use a device conformed to JIS.



STEP 2

Do practices as listed:

<input type="checkbox"/> Equipment to reduce the WBGT	Set up necessary equipment and rest areas according to the plan. Check all items and equipment in rest areas be ready: ice, drinking water and salty candy as well as cold towels, cool clothes and shower booths.
<input type="checkbox"/> Rest area	
<input type="checkbox"/> Work suits	
<input type="checkbox"/> Work time control	Avoid working alone during high WBGT index, take frequent breaks or work interruption by WBGT index.
<input type="checkbox"/> Acclimatization	Take one week for physiological adaptations to the hot atmosphere. Take frequent breaks during the adaptation period, around one week.
<input type="checkbox"/> Water and salt	Take water and salt regularly. Don't wait until you feel thirsty.
<input type="checkbox"/> Active precooling	Cool down the body temperature during break physically or by intake.
<input type="checkbox"/> Health examination and intervention	Workers with some diseases are more vulnerable to heat stress syndrome: 1) Diabetes, 2) high blood pressure, 3) heart disease, 4) kidney disease, 5) mental disease, 6) skin disease, 7) common cold, 8) diarrhea. Consult physicians before assigning work.
<input type="checkbox"/> Daily health check	Manager needs to check overdrunk, lack of sleep, no breakfast, etc. Inform workers of symptoms of heat stress syndrome for earlier detection.
<input type="checkbox"/> Mutual monitoring of health condition	Let's take care of the health condition of co-workers beside the monitoring by the manager.

STEP 3

Site review by managers with the WBGT checking.

- Take measures to reduce the WBGT index?
- Workers are all acclimatized?
- Workers take water and salt regularly?
- Workers are in good health condition?
- Can workers continue to work?

Emergency action

~in case of the symptom~

- Stop working
- See a doctor or call ambulance
- Never let one alone

Intensive period (1-31 July 2021)

- Check the WBGT be reduced effectively. Or take additional action.
- Take work interruption or time reduction, and break time to be introduced when necessary, especially after the end of rainy season.
- Take water and salt regularly.
- Check if any health problem such as lack of sleep, mal-condition, or overdrunk? Be sure to take breakfast to keep your health condition.
- Conduct intensive training on decreasing the risk of heat stress syndrome.
- See a doctor immediately when any abnormal symptoms.



Summer



ポータルサイト

職場における熱中症予防対策をまとめたポータルサイトの整備を行い、熱中症予防対策の啓発を図っています。

また、場所を問わずアクセスして学べるeラーニングコンテンツを拡充していく予定です。

ポータルサイトURL : <https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

The screenshot shows the homepage of the portal website. At the top, there is a navigation bar with links for 'New Information' and 'Site Map'. Below that, a main banner features the text 'Learn! Prepare! Protect your colleagues! Heatstroke prevention information in the workplace' and a logo for the Ministry of Health, Labour and Welfare. A 'New Information' section lists several updates with dates and links. On the right, there is a 'Learn from videos' section with a 'START' button and a link to 'Heatstroke related information'.

学ぼう！ 備えよう！ 職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報

厚生労働省委託事業
職場における熱中症予防に用いる機器の適正な使用法等周知事業

学ぼう！ 備えよう！ 職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報

新着情報

- 2021.5.25 [リーフレット「建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染症防止」](#)をアップしました。
- 2021.5.14 [リーフレット「WBGT値を把握して熱中症を予防しましょう！」](#)をアップしました。
- 2021.4.30 [令和2年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）](#)を公表します。
- 2021.4.30 [令和3年「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」キャンペーン要綱（改正版）](#)をアップしました。
- 2021.4.20 [令和3年「職場における熱中症予防対策マニュアル」](#)をアップしました。
- 2021.4.20 [「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」](#)をアップしました。
- 2021.3.02 令和3年「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を実施します。

動画で学ぶ

熱中症とは？その対策は？
事例も交えた動画&クイズ
で知識確認！

START

厚生労働省
熱中症関連情報

QRコードはこちら
です



ヨシ！



熱中症予防啓発キャラクター
チューイ カン吉

農林水産省

農林水産省では、農作業中の熱中症事故防止に向けて、春の農繁期や7～8月の「熱中症予防強化キャンペーン期間」を中心に、注意喚起や予防法の周知を積極的に実施。

1 行政ルートなどを通じた注意喚起

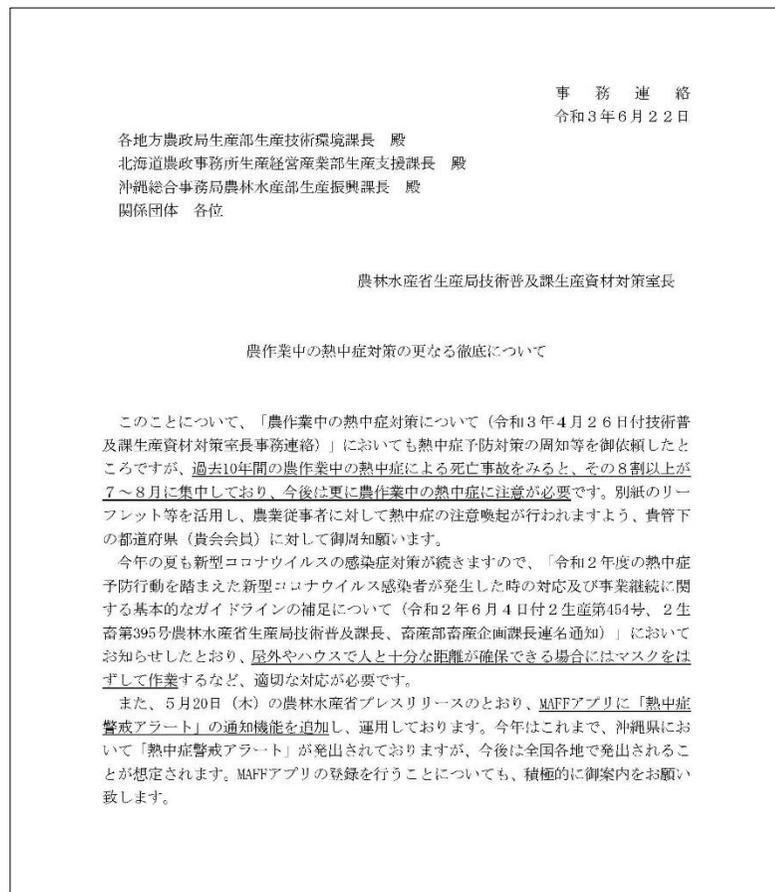
気温が上昇する時期など、熱中症リスクの高い時期に、都道府県、関係団体を通じて注意喚起や予防法を周知。

▶令和3年度通知発出の実績と予定

発出日	文書名等	内容
4月26日	農作業中の熱中症対策について (生産局技術普及課生産資材対策室長)	<ul style="list-style-type: none"> 農作業中の熱中症による死亡事故の実態について 熱中症の予防方法について 「熱中症警戒アラート」の運用開始について
5月20日	MAFFアプリにおける「熱中症警戒アラート」の通知機能の追加について	<ul style="list-style-type: none"> MAFFアプリにおける「熱中症警戒アラート」の通知機能の紹介
6月11日	高温等に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について (生産局農業環境対策課長等)	<ul style="list-style-type: none"> 農作業中の熱中症対策について 「熱中症警戒アラート」の周知
6月22日	農作業中の熱中症対策の更なる徹底について (生産局技術普及課生産資材対策室長)	<ul style="list-style-type: none"> 最も熱中症リスクの高い時期に備え、更なる注意喚起
9月頃	(予定) 台風通過後の高温に伴う技術指導	<ul style="list-style-type: none"> 台風通過後の高温に伴う熱中症対策等

【都道府県、関係団体宛てに発出した通知の例】

本年は田植え作業が本格化し、気温上昇が予想されたGW前や熱中症リスクの高い7～8月に向けて、6月22日にも熱中症に関する注意喚起として通知を発出。



2 SNS等のコンテンツを利用した農家への直接の注意喚起

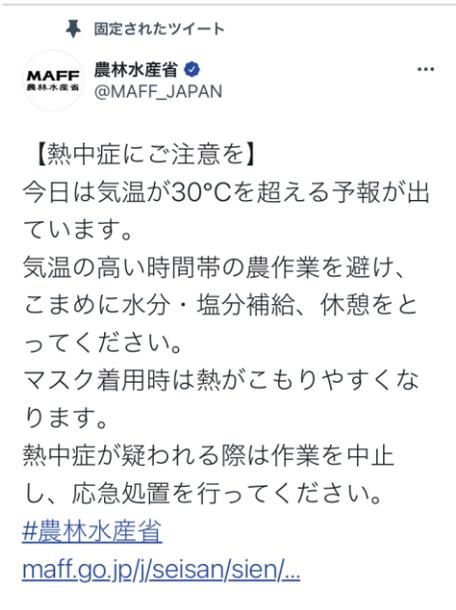
農林水産省が運営する「MAFFアプリ」をはじめ、農林水産省公式アカウントのTwitter等のコンテンツを活用し、農家に対して直接、熱中症の注意喚起情報等を提供。7月以降も引き続き熱中症予防に関する情報を発信していく予定。

▶令和3年度投稿記事の実績

発出日	名称	対象者	内容
5月14日	Twitter（農林水産省公式アカウント）	消費者、事業者、農業者 等	・高温の注意喚起及び熱中症予防の周知
5月19日	MAFFアプリ（「熱中症警戒アラート」の自動通知が開始！）	アプリ登録者（農業者等）	・MAFFアプリにおける「熱中症警戒アラート」の通知機能の紹介
6月8日	Twitter（農林水産省公式アカウント）	消費者、事業者、農業者 等	・高温の注意喚起及び熱中症予防の周知

【Twitterによる注意喚起の例】

高温の日が続く予報が発出された際、随時、熱中症予防に関する注意喚起の情報発信を実施。

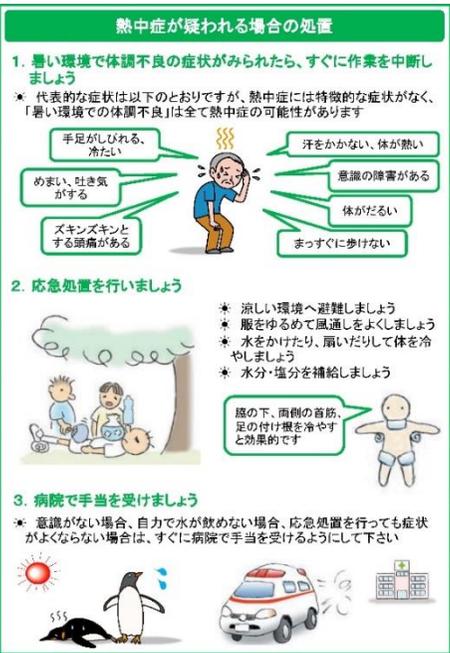


固定されたツイート

MAFF 農林水産省 @MAFF_JAPAN

【熱中症にご注意】
今日は気温が30℃を超える予報が出ています。
気温の高い時間帯の農作業を避け、こまめに水分・塩分補給、休憩をとってください。
マスク着用時は熱がこもりやすくなります。
熱中症が疑われる際は作業を中止し、応急処置を行ってください。
[#農林水産省](https://maff.go.jp/j/seisan/sien/)
[maff.go.jp/j/seisan/sien/...](https://maff.go.jp/j/seisan/sien/)

返信をツイート



熱中症が疑われる場合の処置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

- 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がありま

手足がしびれる、冷たい
めまい、吐き気がする
ズキズキとする頭痛がある
汗をかかない、体が熱い
意識の障害がある
体がだるい
まっすぐに歩けない

2. 応急処置を行きましょう

- 涼しい環境へ避難しましょう
- 服をゆるめて風通しをよくしましょう
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう
- 水分・塩分を補給しましょう

扇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です

3. 病院で手当を受けましょう

- 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくならない場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい



夏の農作業で心がけること

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

- のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう
- 足がつったり、筋肉がビクビクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水（1Lの水に1～2gの食塩）、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
- ※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。
- 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう

3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

- 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。
- 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう

3 MAFFアプリにおける「熱中症警戒アラート」の発信

- 農作業中の熱中症による死亡事故は、平成30年は調査開始以降最も多い43人、令和元年も前年に次ぐ29人と近年急増しており、農業者の方に警戒を促す手法の開発が課題であった。
- このため、農業者と農林水産省をつなぐコミュニケーションツール「MAFFアプリ」に「熱中症警戒アラート」をプッシュ通知する機能を5月20日（木）に実装し、運用を開始した。
- MAFFアプリに登録された方の地域に「熱中症警戒アラート」が発出された場合、当日の朝7頃に自動でMAFFアプリにアラートが通知される。

MAFFアプリにおける「熱中症警戒アラート」発出時の通知イメージ

・ロック画面のプッシュ通知



・MAFFアプリホーム画面の通知



の熱中症警戒アラートをタッチした場合は、気象庁の各地方気象台詳細ページが表示され、各地の暑さ指数や注意情報を確認できる。

A screenshot of the Japan Meteorological Agency website. The page title is "東京都の府県気象情報". It displays a table of weather alerts for Tokyo. A blue arrow points from the app notification to this table.

タイトル	発表時刻
高波と強風に関する東京都（小笠原諸島）気象情報 第2号	2021年04月26日05時30分
高波と強風に関する東京都（小笠原諸島）気象情報 第1号	2021年04月25日16時07分
令和3年台風第2号に関する東京都（小笠原諸島）気象情報 第4号	2021年04月25日10時49分
令和3年台風第2号に関する東京都（小笠原諸島）気象情報 第3号	2021年04月25日05時14分
令和3年台風第2号に関する東京都（小笠原諸島）気象情報 第2号	2021年04月24日11時55分

現在、関東甲信地方気象情報は発表していません。
現在、全般気象情報は発表していません。
▼気象情報の説明を表示する

經濟産業省

経済産業省における熱中症対策の取組について

- エアコンの設置・修理は例年一定の時期（6-8月）に集中。原因は、エアコンの買い換え理由の1位が故障（7割）であること（「暑くなって、動かしてみたら調子が悪い」）。その結果、例年、設置・修理の待ち時間が発生。
- 加えて、コロナによる在宅勤務の急増による夏場のエアコン需要の増加や外出自粛によって、エアコンの設置・修理が例年よりも一定時期に集中する可能性が高く、熱中症のリスクが懸念されていた。
- 熱中症対策の観点から、エアコンの早期点検を4-6月に前倒して実施するよう呼びかける広報を実施。
- 具体的には、経産省のSNS（Twitter、インスタ）を活用した広報を実施するとともに、エアコン関連の業界団体、企業に、早期点検についての積極的な広報活動を依頼。
- 環境省と共に広報ポスターを作成し、家電量販店、町の電気屋さん等において掲示。自治体等へも配布。
- 環境省・厚労省と協力し、高齢者向けの熱中症対策のリーフレットにおいて、エアコン活用の呼びかけを実施。
- また、エアコン関係の業界団体は、啓発チラシの作成や、エアコンメーカー各社の早期点検ウェブサイトの紹介をHPにおいて実施。

＜経産省・環境省のポスター＞

お家の中の熱中症を防止するため、夏本番のシーズンを迎える前に、ご家庭で早期にエアコンの試運転を行いましょう。

夏シーズンの前に今すぐエアコンの試運転を実施しよう！

夏本番の修理や設置工事は非常に混み合います

例年、暑さが集中する7～8月は、工場裏まで予約待ちするご家庭が多数見られます。エアコン無しで過ごすためにも、早めにメーカーまたは販売店の試運転を行い、不具合が判明しないうちに修理を行ってください。

経済産業省 環境省

日本家電の修理工業会 家電製品協会

全国電気用品組合連合会 大手家電流通協会

＜業界団体のチラシ＞

夏本番前に!! 「あれ!? エアコンが効かない...」

安全にお使いいただくために

エアコン お手入れと運転確認 をお願いします!

① 電源プラグ	② リモコン	③ フィルター
④ 室外機	⑤ 冷風の確認	⑥ 正常運転の確認

上記①～⑥の手順でお手入れと運転確認をしてください。

異常に気付いたら「使用を中止」の上、お買い上げの販売店またはメーカーにご相談ください。

※ 問い合わせ先 記載欄

エアコンくん

JRAIA 一般社団法人 日本冷凍空調工業会 AEA 一般財団法人 家電製品協会

「エアコン早期点検」各社のホームページのご案内

(株) コロナ	https://www.corona.co.jp/air_conditioner/index.html
シャープ (株)	https://jp.sharp/info/aircon2020.html
ダイキン工業 (株)	https://www.daikincc.com/campaign/switch-on/
東芝ライフスタイル (株)	https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/living/air_conditioners/special/care/
パナソニック (株)	https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/special/aircon_summer.html
日立ジョンソンコントロールズ空調 (株)	https://kadenfan.hitachi.co.jp/ra/check/index.html
(株) 富士通ゼネラル	https://www.fujitsu-general.com/jp/support/how-to/as/pre-season/index.html
三菱重工冷熱 (株)	https://www.mhi-air.co.jp/contents/13-news/mhi-air_information_202006.html
三菱電機 (株)	https://www.mitsubishielectric.co.jp/home/kingamine/special/test-run/index.html

エアコンくん JRAIA 一般社団法人 日本冷凍空調工業会 AEA 一般財団法人 家電製品協会

国土交通省

国交省におけるヒートアイランド対策に関する施策について

- 「ヒートアイランド対策大綱」(平成25年5月 ヒートアイランド対策推進会議(国交省、環境省、他5省庁)決定)に基づき、国土交通省として各種ヒートアイランド対策に関する施策を実施。
- 具体的には、「人工排熱の低減」、「地表面被覆の改善」、「都市形態の改善」、「ライフスタイルの改善」、「人の健康への影響等を軽減する適応策の推進」、「観測・監視体制の強化及び調査研究」を実施。

ヒートアイランド対策大綱に含まれる施策(国交省関連)

《人工排熱の低減》

- 省エネルギー性能の優れた住宅・建築物の普及促進
- 低公害車の普及促進
- 交通流対策及び物流の効率化の推進並びに公共交通機関の利用促進
- 未利用エネルギー等の利用促進

《地表面被覆の改善》

- 民間建築物等の敷地における緑化等の推進
- 官庁施設等の緑化等の推進
- 公共空間の緑化等の推進
- 水の活用による対策の推進

《都市形態の改善》

- 水と緑のネットワーク形成の推進
- 環境負荷の小さな都市の構築に向けた都市計画制度の活用等の推進

《ライフスタイルの改善》

- ライフスタイルの改善に向けた取組の推進
- 自動車の効率的利用

《人の健康への影響等を軽減する適応策の推進》

- 緑のカーテンに関する情報提供

《観測・監視体制の強化及び調査研究》

- 観測・監視と実態把握
- 計画的な施策展開のための調査研究

緑化や水の活用による地表面被覆の改善、都市形態の改善

- 緑地・水面の減少、建築物や舗装などによって地表面が覆われることによる蒸発散作用の減少や地表面の高温化を防ぐため、地表面被覆の改善を図る。
- 都市において緑地の保全を図りつつ、緑地や水面からの風の通り道を確保する等の観点から、緑の拠点の形成、事業間連携などにより、広域的視点に基づく水と緑のネットワークの形成を推進。

① 民有地・民間建築物・公共空間等の緑化



民間建築物等の敷地内緑化



立体都市公園の整備

道路の緑化

※ 屋上緑化施工実績 約 537haの増加 (R1←H12)

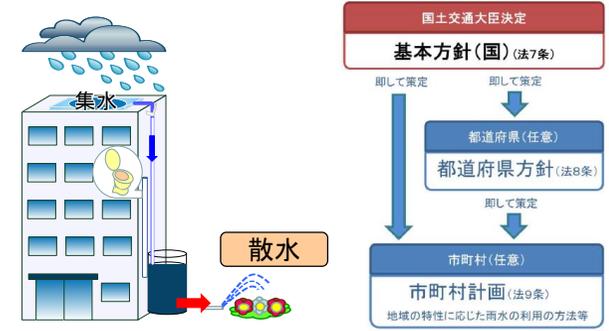
② 雨水利用施設の設置

雨水利用施設に貯留された雨水を散水等に利用することにより夏季の暑さ対策への寄与。

「雨水の利用の推進に関する法律(H26.5施行)」に基づく、「雨水の利用の推進に関する基本方針(H27.3決定)」を受け、雨水利用施設の設置等を進め、水資源の有効利用を図る。

雨水利用の推進

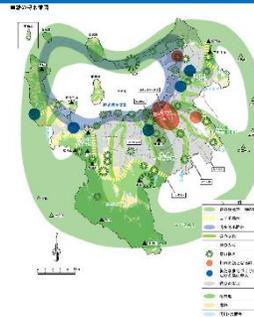
- 国自らが率先して雨水の利用を推進し、全国の地方公共団体や民間事業者への波及を図る



雨水利用施設を活用した雨水利用の例

基本方針・計画の体系

③ 都市における水と緑のネットワーク形成



緑の基本計画に基づく水と緑のネットワーク形成の取組



河川と公園との一体的な再整備

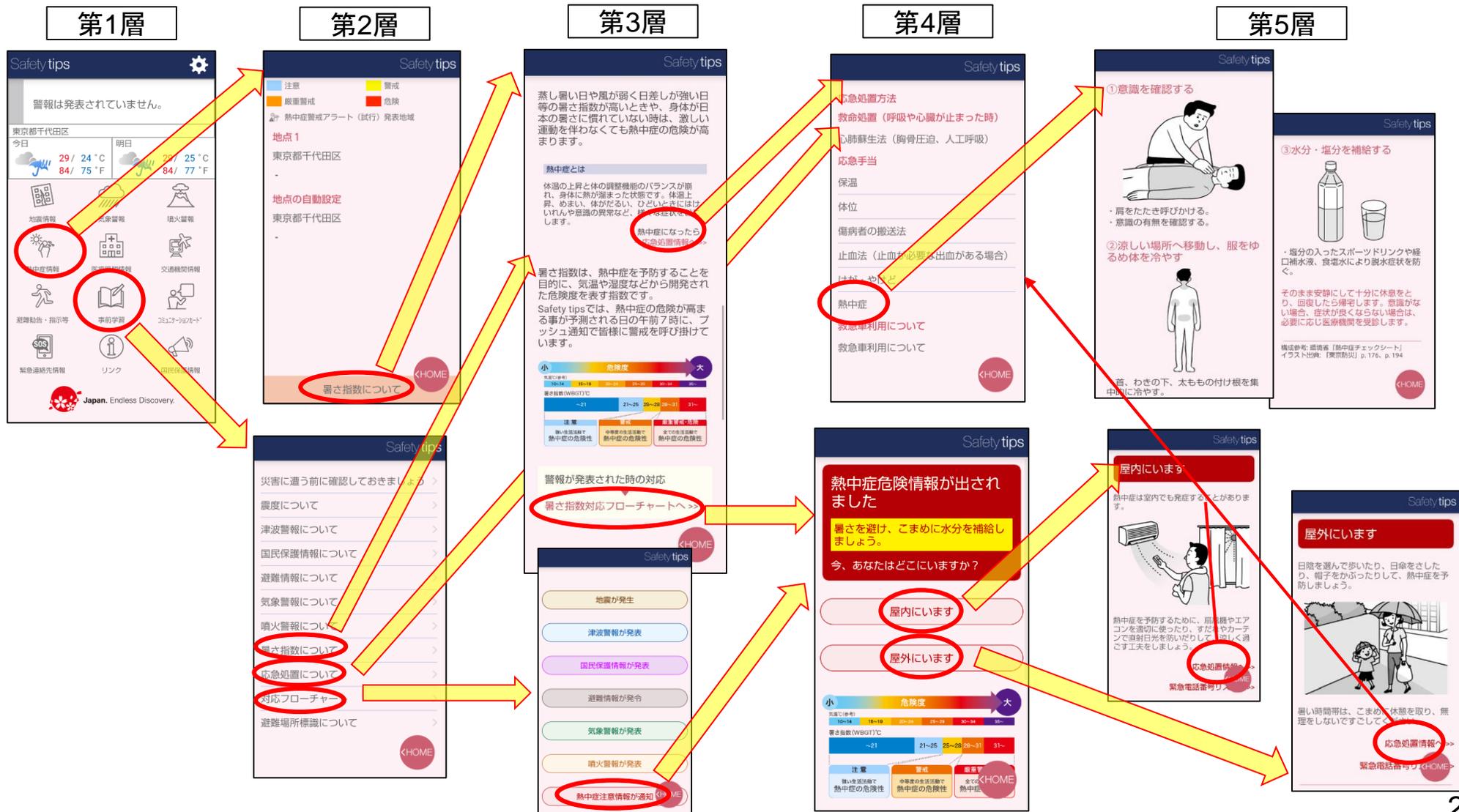


都市に残された緑地の保全

観光庁

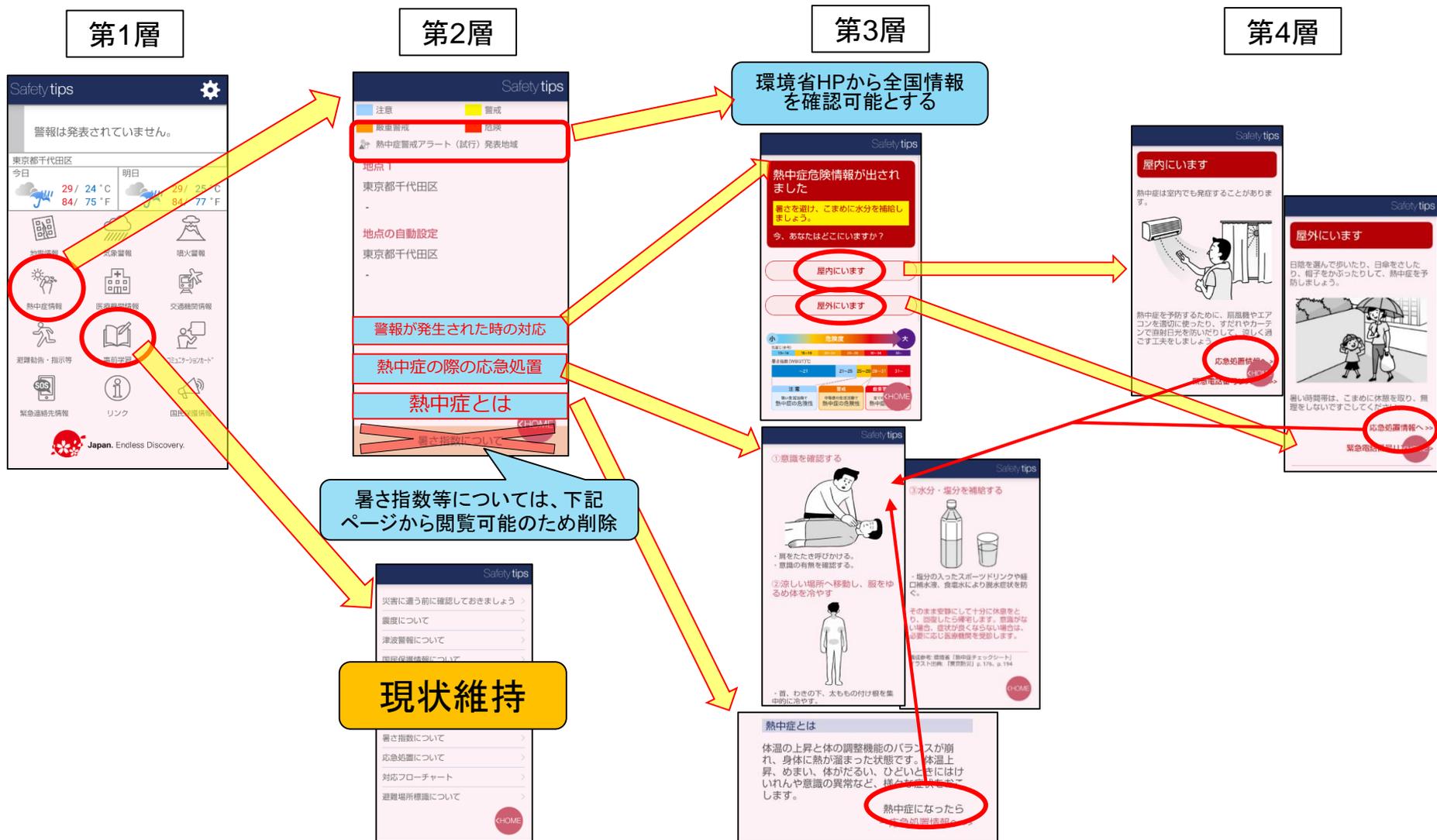
現行サイトの主な課題

- ・自分の登録した地点の熱中症警戒情報しか分からない。
- ・「暑さ指数について(第2層)」の案内先(第3層)に、「熱中症」、「暑さ指数」、「警報が発表された時の対応」の3つの情報があり、分かりにくい。
- ・重要な要素である「熱中症の際の応急処置方法」が最下層(第5層)にあり、分かりづらい。



主な改修点(案)

- 登録した地点のほか、環境省HPとリンクし、日本全国の熱中症警戒情報が確認できるようにする。(環境省と調整)
- 重要な情報である「①警報が発表された時の対応」、「②熱中症の際の応急処置」、「③熱中症」の3つについて、サイト構成を変更し、アクセス容易化。
- 熱中症の危険性がより伝わるように、説明文などの記載内容を見直し。
- 重要な情報については、文字サイズを拡大・強調等により視認性を向上。



“Safety” for your pleasant trip

Safety tips



Safety tips

No warning has been issued.

Chiyoda City, Tokyo

Today	18 / 14 °C 64 / 57 °F	Tomorrow	27 / 15 °C 81 / 59 °F
-------	--------------------------	----------	--------------------------

- Earthquake information
- Weather information
- Volcanic warning
- Heat illness Warnings
- Medical Institutions
- Transportation
- Evacuation advice / instruction etc.
- Learning Materials
- Helpful Phrases
- Emergency Contacts
- Links
- Civil Protection Information

Japan. Endless Discovery.

- ✓ Users will receive **Heat illness Warnings**, **Earthquake Early Warning** and **Tsunami Warning notification** when they affect the registered locations.
- ✓ The App provides **various functions** useful for both foreign tourists and residents in Japan.

- ✓ **Language**
Japanese · English · Korean · Chinese (Simplified Chinese/Traditional Chinese) · Vietnamese · Spanish · Portuguese · Thai · Indonesian · Tagalog · Nepali · Khmer · Burmese · Mongolian
- ✓ **Terminals** : iPhone (iOS 9.0 or later)
Android (Android 5.0 or later)
- ✓ **Charge** : Free

※ iPhone and App Store are trademarks of Apple Inc. in the US and other countries.
 ※ Android and Android Market are trademarks or registered trademarks of Google Inc.
 ※ Users are responsible for any telecom charges associated with the use of this application.

Please Download Here!!

For iPhone



For Android



or

Search in App Store or Google Play ↓

Safety tips



Japan. Endless Discovery.



Japan Tourism Agency

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

気象庁

令和3年7月2日
気象庁

令和3年度の熱中症対策関連の取組について

- 気象庁では熱中症対策に資するため、期間（4月第4水曜日～10月第4水曜日）を定めて、下記のような関連する気象情報の提供（熱中症対策関連情報の例は別紙参照）を行っている。今年度も同様に、以下のとおり情報の提供を行う。
 - 2週間気温予報・高温に関する早期天候情報
主に2週間先を対象に、5日間平均した最高気温・最低気温を毎日提供する「2週間気温予報」、及び毎週2回（月・木曜日）、6日～14日後を対象として、2週間気温予報で平年より「かなり高い」気温が予想された場合に発表する「高温に関する早期天候情報」において、一定の高温が予想される場合、熱中症への注意を呼びかけ。
 - 週間天気予報・高温に関する気象情報
向こう1週間で最高気温が概ね35℃（※）以上になることが予想される場合に、週間天気予報において熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、「高温に関する気象情報」を発表。
 - 熱中症警戒アラート
熱中症発生との相関が高い「暑さ指数」に基づき、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予測される日の前日17時頃及び当日5時頃に、環境省と気象庁が共同で発表。
 - 天気予報・ホームページ
熱中症警戒アラート発表時は「天気概況」で熱中症への注意喚起を行う。また、予想最高気温による一般的な熱中症への注意喚起は、ホームページの「気象台からのコメント」において、適宜、呼びかける。
 - その他の情報（上記情報等とともに気象庁ホームページ熱中症ポータルサイトに掲載）
 - <予測情報>
 - 最高・最低気温分布予想図
 - 気温分布予報（3時間ごとの5kmメッシュ内の平均気温を1℃単位で予報）
 - <観測情報等>
 - アメダスの気温の観測データ

- 推計気象分布（最新の気温等の分布を、約1km四方で1時間ごとに提供）
- ヒートアイランド現象（毎年7月頃更新。都市化による気温への影響等）
- 全国の日最高・最低気温の分布
- 全国観測値ランキング
- 観測史上1位の値更新状況

気象庁ホームページ熱中症ポータルサイト：

[<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>]

※ 一部の地域では基準が異なる。

気象庁が発表する熱中症対策に関する情報

時間を追って段階的に発表する 熱中症対策向けの気象情報

気温等の予想

2週間前～

5日間平均気温がその時期として顕著に高くなると予想

1週間前～

向こう一週間で最高気温が概ね35度以上となることを予想

前日夕方

翌日の日最高暑さ指数*が33以上と予想

当日朝

当日の日最高暑さ指数*が33以上と予想

気象庁の情報

高温に関する
早期天候情報

高温に関する
気象情報

熱中症警戒
アラート

「天気概況」「気象台からのコメント」において、適宜、熱中症に対する注意を呼びかけ。

※暑さ指数：気温・湿度・日射量などから算出する指数

○気象庁が発表する情報の例

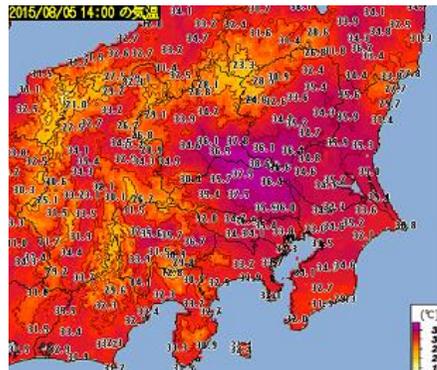
2週間気温予報

最近1週間の実況と今後2週間先までの気温の推移を表示

日付		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		週間 天気予報 (従来)							(7-11)	(8-12)	(9-13)	(10-14)	(11-15)
東京	最高(℃)								34	34	33	33	32
	最低(℃)								27	27	26	25	24

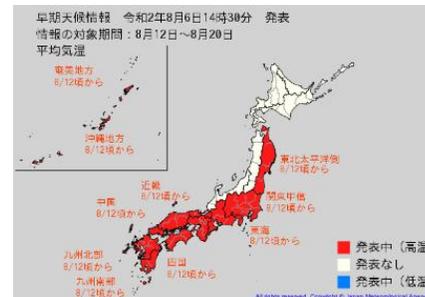
推計気象分布

全国の気温等の分布を約1km四方で算出・表示



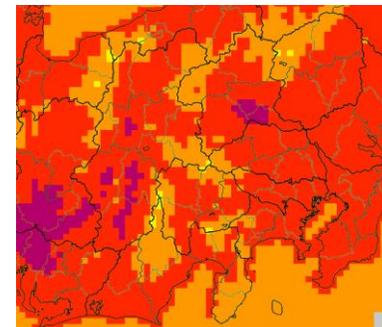
高温に関する早期天候情報

情報発表日の6日後から14日後までを対象として、5日間平均気温がかなり高くなると予想される場合に発表



気温の分布予想

翌日の24時までの気温、日中の最高気温、朝の最低気温の予想分布を約1km四方で算出・表示



ホームページでの情報提供



熱中症から身を守るために
(日英2言語で情報提供)

(日) <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

(英) https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/kouon/heat_illness.html



TOKYO 2020 WEATHER
PORTAL

東京2020ポータルサイト
(日英2言語で情報提供)

(日) <https://www.data.jma.go.jp/tokyo2020/#lang=jpn>

(英) <https://www.data.jma.go.jp/tokyo2020/#lang=eng>

環境省

熱中症に関する取組について

環境省

1. 熱中症予防情報の提供について

環境省熱中症予防情報サイト (<https://www.wbgt.env.go.jp/>) において、暑さ指数(WBGT)の予測値及び実況値について、4月28日(水)から10月27日(水)までの間、ウェブサイトでの情報提供、電子情報提供サービス、メール配信サービス等を実施する。

(1) 令和3年度当該サイトでの主な提供情報

- ① 熱中症警戒アラートの発表状況と発表履歴の公表
- ② 熱中症警戒アラートの個人向けメール配信サービス(無料)の提供
- ③ 熱中症警戒アラートのLINEによる配信
- ④ 全国840地点の暑さ指数(WBGT)の予測値及び実況値
 - 予測値：当日、翌日、翌々日(深夜0時まで)の3時間毎(3時、6時、9時…)の予測値
 - 実況値：現在の暑さ指数(WBGT)の実況推定値(実測地点においては実測値)
 - *暑さ指数(WBGT)の実測地点：札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、高知、福岡、鹿児島、那覇(全国11地点)
- ⑤ 暑さ指数(WBGT)の個人向けメール配信サービス(無料)の提供
- ⑥ 暑さ指数(WBGT)と熱中症救急搬送人員数の関係について(週報)
- ⑦ CSV形式による暑さ指数(WBGT)数値データの提供
- ⑧ 「まちなかの暑さ対策ガイドライン 改訂版(平成30年3月環境省)」など暑熱対策技術の紹介
- ⑨ 「熱中症環境保健マニュアル 2018(平成30年3月環境省)」、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」など熱中症対策に関する普及啓発資料
- ⑩ 熱中症に関する関係省庁の取組

(2) 環境省熱中症予防情報サイトの利用状況等

1) 環境省熱中症予防情報サイトのアクセス件数

令和2年度のアクセス件数は約4,800万件。

期間	件数
平成27年5月13日～10月16日	12,701,487件
平成28年4月25日～10月14日	11,540,347件
平成29年4月20日～9月29日	12,515,265件
平成30年4月20日～10月8日	30,478,165件
平成31年4月19日～10月14日	29,010,914件
令和2年4月17日～10月30日	47,587,648件

2) 個人向けメール配信サービスの利用状況について

令和2年度の個人向けメール配信サービスの利用者数は約 29,000 件。

(3) その他

平成30年度から暑さ指数(WBGT)の実測地点を追加(高知、那覇)。

平成31年度から色のバリアフリーに配慮し、暑さ指数(WBGT)の文字色と背景色の組み合わせやコントラストを改善。

令和2年度から一部コンテンツは英語だけでなく中国語(繁体字・簡体字)、韓国語にも対応。

2. 熱中症対策に係る普及啓発資料の作成

(1) 熱中症対策に係る普及啓発資料の作成

① 熱中症環境保健マニュアル

平成17年度よりマニュアルを作成。最新の情報及び知見を踏まえ、「熱中症環境保健マニュアル2018」を平成30年3月に策定。令和3年度に改訂予定。

② 夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン

平成27年度に夏季にイベントを開催する主催者等のための熱中症対策ガイドラインを暫定的に作成、その後の改訂を経て、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020」を令和2年3月に策定。

③ 学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き

学校において熱中症対策ガイドラインの作成時に活用いただけるように、文部科学省と策定し、令和3年5月に公表。

④ リーフレット、携帯型カード等 ※()内は連携府省庁

平成21年度より、一般の方々の利便性等を考慮して、熱中症の予防方法や対処方法などの要点についてまとめたリーフレット等を作成。

- ・高齢者向けリーフレット「高齢者のための熱中症対策」
- ・一般向けリーフレット「熱中症～ご存じですか？予防・対処法～」
- ・携帯型カード「熱中症予防カード」
- ・英語版リーフレット「Summer in Japan is hot and humid!/日本の熱中症」
- ・多言語(英・中・韓)資料「Heat Illness Measures Guideline Cards」
- ・熱中症警戒アラート発表時のリーフレット・ポスター「熱中症警戒アラート発表時の熱中症予防行動」(気象庁)
- ・夏本番前のエアコンの早期点検の呼びかけのポスター「熱中症対策にエアコンの試運転を！」(経済産業省)
- ・災害時の熱中症予防のリーフレット「災害時の熱中症予防～避難生活・片付け作業時の注意点～」(内閣府防災担当、消防庁、厚生労働省)
- ・新しい生活様式」での熱中症予防のリーフレット「熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に！」(厚生労働省) 等

⑤ 熱中症について学べる動画

平成 27 年度に作成した熱中症に関して学べる動画を、引き続きインターネット等で公開。

(2) その他

① ウェブサイトでの情報提供

環境省の熱中症予防情報サイト上で各資料の PDF 版を公開、スマートフォン等からも内容の閲覧が可能。

② 印刷用データの提供

リーフレット等を自治体側で印刷・配布が行えるよう、希望があった自治体に対し印刷用データを提供。

3. 熱中症対策シンポジウム

令和 3 年 6 月 23 日（水）、自治体の担当職員や一般の方を対象にしたシンポジウムをオンライン開催した。参加者数は 600 名以上。

本シンポジウムでは、熱中症の基礎的な知識を始め、今年度から全国で運用を開始した「熱中症警戒アラート」や暑さ指数（WBGT）の活用方法、高齢者や教育現場での熱中症対策等、実際の熱中症対策に役立つ情報を提供し、地域における熱中症対策を推進した。

4. イベント等の実施

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2、3 年度は中止。

5. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

(1) 「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」について、令和元年夏のオリパラ・テストイベント会場内（ビーチバレー、ゴルフ等）等において実施した暑熱観測の結果を踏まえた内容や、障害者の方への対応に関する内容を盛り込み令和 2 年 3 月に改訂・公表している。 https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_gline.php

(2) 主要競技会場周辺等の 17 地区程度を対象に気温、湿度等の実測調査を行い、熱中症予防情報で情報提供するとともに、各競技会場内での暑さ指数（WBGT）の計測及びデータ収集を行い、会場内への熱中症の注意喚起を行う。

6. 地域における効果的な熱中症予防対策の推進

① 熱中症予防対策ガイドランスの策定について

地方公共団体や民間事業者では創意工夫に富んだ様々な取組が進められている。このような取組の水平展開を後押しすべく、取組内容の効果や内容の検討過程での課題を明らかにするため、令和元年度～令和 2 年度にわたり、本事業で 16 の実証事業を採択した。地域の優れた取組について事業に係る費用や検証結果を示すとともに、

実証事業を含めた地域における熱中症予防対策の優れた取組事例を取りまとめ、令和3年4月、「熱中症予防対策ガイドンス」を策定し、公表した。

② 地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業
各地方自治体において、ガイドンスを参照・活用しながら、それぞれの地域特性を踏まえた上で、多様な関係主体によるアプローチの取組や、地方自治体の後押しを含め包括的・体系的に熱中症対策を実施する取組を支援する。
本事業において、令和3年度は全国より8つの地方自治体をモデル自治体として選定し、熱中症対策に関する課題及び必要な対策を実施することを支援する。令和4年度は、当該モデル事業で得られた知見を全国の地方自治体向けに「地域における熱中症対策ガイドライン（仮称）」として整理し、全国での地域における熱中症対策を一層推進する。

7. 近年の熱中症予防行動についての他省庁と連携した取組
※（ ）内は環境省と連携している関係府省庁

○「熱中症警戒アラート」運用: (気象庁)

令和2年7月～関東甲信1都8県で試行、令和3年4月～全国展開
普及啓発リーフレット・ポスター「熱中症警戒アラート発表時の熱中症予防行動」
作成・周知(令和3年3月)



○夏本番前のエアコンの早期点検の呼びかけ：（経済産業省）

普及啓発ポスター「熱中症対策にエアコンの試運転を！」作成・周知（令和3年4月）



○学校における熱中症対策：（文部科学省）

「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」の作成・周知：（令和3年5月）

文部科学省より全国へ事務連絡発出（令和3年6月）

学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（概要版）	
はじめに	
<p>環境省・文部科学省では、「学校現場における熱中症対策の推進に関する検討会」を開催し、学校における実際の熱中症対策や判断の参考となる事項について検討の上、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（以下、「本手引き」）を作成することいたしました。</p> <p>本手引きでは、ガイドラインに記述すべき項目やガイドライン作成上の留意点についてお示しします。</p> <p>なお、令和3年度から熱中症警戒アラートが全国展開されることから、熱中症警戒アラート発表時の対応についても紹介しています。</p>	
本手引きの構成	
	第1章 本手引きの位置づけと活用方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本手引きは、教育委員会等の学校設置者等が作成する熱中症対策に係る学校向けのガイドラインの作成・改訂に資するよう、環境省・文部科学省が共同で作成しました。 ● 各学校設置者等においては、各地域の特性等を踏まえ、本手引きの内容を参考に独自の熱中症対策のガイドラインの作成・改訂にご活用いただくとともに、学校の危機管理マニュアルの見直し・改訂を行う際に、熱中症対策に係る最新の情報や優良事例を掲載している本手引きの内容を踏まえ、検討をお願いします。 ● 各学校においては、実践編（第5章、第6章）を中心に参考としてください。
基礎編	第2章 熱中症とは
	第3章 暑さ指数（WBGT）について
実践編	<ul style="list-style-type: none"> ● 暑さ指数（WBGT）とは ● 暑さ指数（WBGT）に応じた行動指針 ● 暑さ指数（WBGT）の測定
	第4章 熱中症警戒アラートについて
	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症警戒アラートとは ● 熱中症警戒アラートの活用にあたって
	第5章 熱中症の予防措置
	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前の対応 ● 授業日の対応 ● 過休日、休日、学校休業日の対応
	第6章 熱中症発生時の対応
	第7章 熱中症による事故事例
	第8章 参考資料

○「コロナワクチン集団接種会場」における熱中症対策：（厚生労働省）

事務連絡を通じて自治体に対する周知（令和3年6月）

○高齢者向けの熱中症対策：(厚生労働省)

普及啓発リーフレット「高齢者のための熱中症対策」作成・周知（令和3年7月）

高齢者のための熱中症対策

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

部屋の中でも注意が必要です
エアコンを上手に使いましょ

熱中症は、室内の気温でも多く発生しています。エアコン使用もこまめに換気をしましょう。

エアコンを上手に使いましょ
室温が26℃以下に保てるよう設定をしましょう。

扇風機や除湿機
も併用する
除湿機・除湿機
を併用する
除湿機・除湿機
を併用する
除湿機・除湿機
を併用する

すだれやカーテンを
活用し直射日光を遮る

換気をして部屋の
湿しい空気を入れる

窓とドアなど
2か所を開ける

さらに、気を付けるべきポイント

熱中症を防ぐために
マスクをはずしましょ

湿度が70%以上
2m以上
経れている時
(十分な換気)

マスクの着用時は
● 濡しい状態は避けましょ
● のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょ
● 気流・湿度が低い時は特に注意しましょ

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょ

1日あたり
1.2L(17コップ)
目安に

● 11時前までに
コップ1杯
(100ml×11杯)
● 入浴前後や起床後も必ず水分補給を
● 大量に汗をかいた時は
塩分も忘れず

※水分補給の目安は
年齢や性別の差に注意しましょ。

！高齢者は特に注意が必要です

- 1 体内の水分が不足しがちです
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少なく、汗の蒸発量も増えるため水分不足が起きやすくなります。
- 2 暑さに対する感覚機能が低下しています
加齢により、暑さや乾きの暑さに対する感覚が鈍くなります。
- 3 暑さに対する体の調節機能が低下します
高齢者は暑さに慣れてくると、暑い時には若年者よりも暑さを感じにくくなります。

● 東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和2年度)
熱中症死亡者数(人) 1,000以上 500以上 100以上 50以上 10以上 5以下

熱中症死亡者数(人) 1,000以上 500以上 100以上 50以上 10以上 5以下

熱中症死亡者数(人) 1,000以上 500以上 100以上 50以上 10以上 5以下

高齢者の水分不足率

75% 60% 50%

若年者 成人 高齢者

予防法ができていないかチェックしましょ

<input type="checkbox"/> エアコンが上手に使われている	<input type="checkbox"/> 扇風機や除湿機が併用されている	<input type="checkbox"/> 部屋の換気が適切に行われている	<input type="checkbox"/> 必要に応じて水分を補給している	<input type="checkbox"/> こまめに水分補給している
<input type="checkbox"/> シャワーやタオルで体を冷やしている	<input type="checkbox"/> 暑い時は無理をしない	<input type="checkbox"/> 濡れた服装は速に脱ぎ換えている	<input type="checkbox"/> 日傘・帽子・涼感グッズを利用している	<input type="checkbox"/> 緊急時・困った時の連絡先を確認している

環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック！ <https://www.met.go.jp/safety/safety2021/heatstroke/>

厚生労働省 経済産業省 環境省

2021年7月

環境省・気象庁

令和3年7月2日
環境省・気象庁

「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について

1. 背景・目的

近年、熱中症搬送者数が著しい増加傾向にあることから、どのように情報を発信し、国民の効果的な予防行動に繋げるかが課題となっている。このため、環境省と気象庁は、有識者による検討会を開催し、令和2年夏に、暑さ指数（WBGT）に基づき、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、新たに暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート（試行）」を関東甲信地方で先行的に実施した。

令和2年度に実施された「熱中症警戒アラート（試行）」の検証結果等を踏まえて、令和3年4月28日から全国で運用を開始したところ。

2. 「熱中症警戒アラート」の概要

(1) 発表対象地域

- ・ 全国を58に分けた府県予報区等を単位として発表
(北海道、鹿児島県、沖縄県を細分化)

(2) 発表基準

- ・ 発表対象地域内の暑さ指数（WBGT）算出地点のいずれかで日最高暑さ指数を33以上と予測した場合に発表

(3) 発表タイミング

- ・ 前日の17時頃及び当日の5時頃に最新の予測値を元に発表

(4) 情報提供期間

- ・ 毎年4月第4水曜日17時から10月第4水曜日5時発表分まで。
令和3年は、4月28日（水）17時から10月27日（水）5時発表分まで

(5) 情報提供サイト

- ・ 熱中症警戒アラートは環境省及び気象庁ホームページで、該当都道府県内の予測地点毎の暑さ指数（WBGT）は環境省熱中症予防情報サイトで情報提供

3. 「熱中症警戒アラート」の活用に関する評価・検討

熱中症警戒アラートなど熱中症予防対策に係る情報発信及び活用について評価・検討するため、「令和3年度熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」を両省庁共同で開催。

- ・ 第1回 6月28日（月）10:00-12:00 ウェブ開催
- ・ 第2回は、12月頃を予定

4. 添付資料

- 別紙1 熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について

熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について

R3.4.28

環境省・気象庁

令和3年4月28日より全国で本格実施

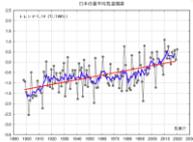
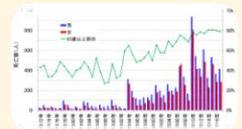


熱中症警戒アラート

環境省・気象庁が新たに提供する、暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し、国民の熱中症予防行動を効果的に促す。

1. 背景

- 熱中症による**死亡者数・救急搬送人員**は増加傾向にあり、気候変動等の影響を考慮すると**熱中症対策は極めて重要**



2. 発表方法

- 高温注意情報を、熱中症の発生との関が高い**暑さ指数 (WBGT)**を用いた**新たな情報**に置き換える

暑さ指数 (WBGT) とは、人間の熱がらに影響の大きい
気温 湿度 放射熱



の3つを取り入れた暑さの厳しさを示す指標です。

※各地域の暑さ指数は環境省の熱中症予防情報サイト参照



3. 発表の基準

- 府県予報区内のどこかの地点で暑さ指数 (WBGT) が**33以上になると予測した場合**に発表

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安 ⁽¹⁾	日常生活における注意事項 ⁽¹⁾	熱中症予防運動指針 ⁽²⁾
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安眠状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
28~31℃	すべての生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	激運動(激しい運動)は中止 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避け、10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに慣れた人は運動を軽減または中止。
25~28℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性		警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が甚すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきに休憩をとる。
21~25℃	強い生活活動でおこる危険性		注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の危険に積極的に水分・塩分を補給する。

注1) 日本生気象学会指針より引用
注2) 日本スポーツ協会指針より引用

4. 発表の地域単位・タイミング

<地域単位>

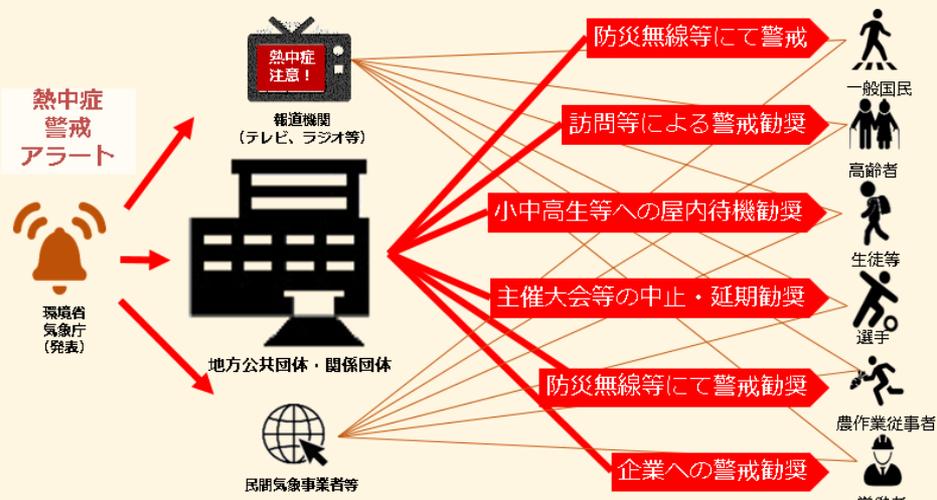
- 気象庁の**府県予報区等単位**で発表
- 該当府県予報区内の観測地点毎の予測される暑さ指数 (WBGT) も情報提供



<タイミング>

- **前日の17時頃及び当日の朝5時頃**に最新の**予測値**を元に発表
- 報道機関の夜及び朝のニュースの際に報道いただくことを想定
- 「気づき」を促すものであるため、一度発表したアラートはその後の予報で基準を下回っても取り下げない

5. 情報の伝達方法 (イメージ)



6. 発表時の熱中症予防行動例

- 熱中症の危険性が極めて高くなると予測される日の前日または当日に発表されるため、**日頃から実施している熱中症予防対策を普段以上に徹底**することが重要。
- (例)
- 不要不急の外出は避け、昼夜を問わずエアコン等を使用する。
 - 高齢者、子ども、障害者等に対して周囲の方々から声かけをする。
 - 身の回りの暑さ指数 (WBGT) を確認し、行動の目安にする。
 - エアコン等が設置されていない屋内外での運動は、原則中止/延期をする。
 - のどが渇く前にこまめに水分補給するなど普段以上の熱中症予防を実践する。



7. 令和3年度以降の検証について

- 令和3年度の全国展開以降、定期的に「熱中症警戒アラート」の発表状況等を踏まえた検証を実施し、効果の算出に努める。
- 継続的に検証を重ね、今後の熱中症対策の課題改善に繋げる。